SONY

3-866-309-**02** (1)

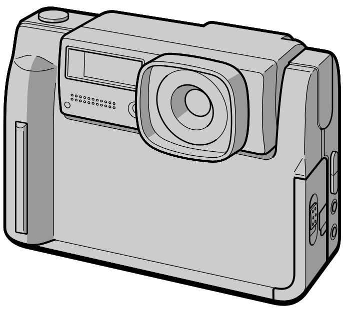
デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Cyber-shot Digital Still Camera　InfoLITHIUM™　MEMORY STICK™

DSC-F55K

必ずお読みください

液晶画面について

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と黒、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、記録されません。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。
撮影内容の補償はできません。
万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

本機でメモリースティックに記録された静止画像ファイルは、日本電子工業振興会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"に対応しています。
統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700）で記録された静止画像は本機では再生できません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）/Factor（ファクター）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-98シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

お使いになる前に

本機はメモリースティックを記録メディアとして使用するデジタルスチルカメラです。

本機に振動や衝撃を与えないでください!

誤作動や画像が記録できなくなることがあるだけでなく、メモリースティックが使えなくなったり、撮影済みの画像データが破損することがあります。

液晶画面およびレンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。
黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません(有効画素99.99%以上)。これらの点は記録されません。液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください!

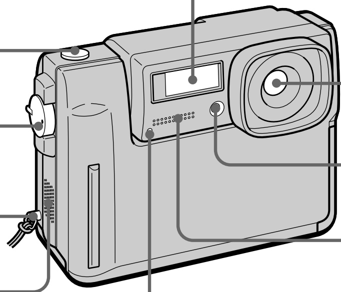
雨の日など屋外での撮影時は本機を濡らさないようご注意ください。
結露が起きたときは49ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。



フラッシュ発光部
（23ページ）

シャッターボタン
（12ページ）

モード
MODE**スイッチ**
プレイ　スチル　ムービー
PLAY/STILL/MOVIE
（12ページ）

ハンドストラップ取り付け部

スピーカー

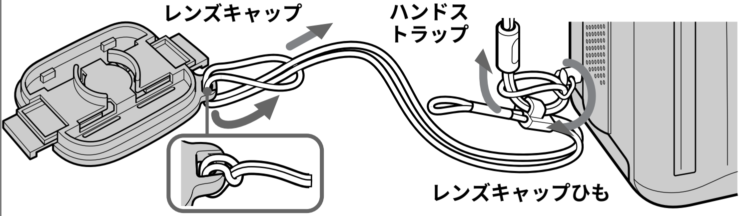
録画ランプ

レンズ

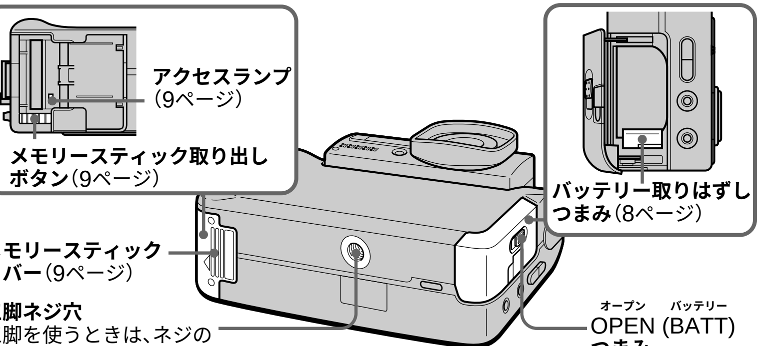
調光窓
撮影時にふさがないようにする。

MIC（**マイクロホン**）

レンズキャップ（付属）とハンドストラップ（付属）を取り付ける



レンズキャップひもがレンズキャップの左右の突起にかからないようにしてください。



アクセスランプ
（9ページ）

メモリースティック取り出しボタン（9ページ）

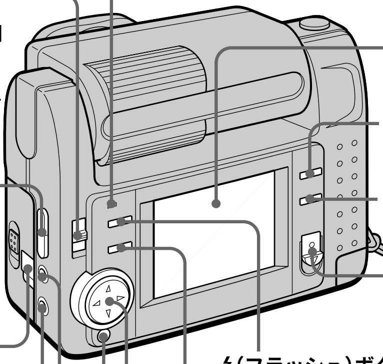
バッテリー取りはずしつまみ（8ページ）

メモリースティックカバー（9ページ）

三脚ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが6.5mm以下のものをお使いください。

オープン　バッテリー
OPEN (BATT)
つまみ
（8ページ）

各部のなまえ（つづき）



LCD BACK LIGHT（バックライト）スイッチ
通常は「ON」にして使用します。屋外など、明るい場所で使うときに「OFF」にすると、バッテリーを長持ちさせることができます。

LCD BRIGHT（ブライト）＋/－ボタン
液晶画面の明るさを調節します。

ACパワーアダプター/チャージャーコードカバー（45ページ）

DIGITAL（デジタル） I/O端子（20ページ）

A/V OUT端子（45、46ページ）音声はモノラルです。

DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
ボタンを押して液晶画面の表示を出したり消したりします。

フラッシュランプ（23ページ）

液晶画面（14、17ページ）

＋🔍（ズーム）ボタン（24、33ページ）

－🔍（ズーム）ボタン（24、33ページ）

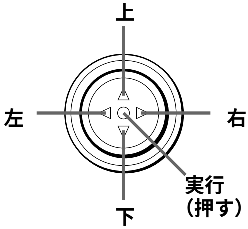
POWER（パワー）スイッチ/電源ランプ（10ページ）

⚡（フラッシュ）ボタン（23ページ）
初期設定はAUTO（表示なし）。
ボタンを押すたびに変わる。
強制発光 ⚡ →
発光禁止 Ⓧ →AUTO（表示なし）
「AUTO」時は周囲の明るさに応じて自動的に発光します。推奨撮影距離は0.3 m～2.5 m。

🌷（マクロ）ボタン（24ページ）

コントロールボタン

コントロールボタン



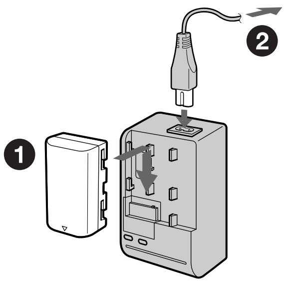
コントロールボタンの使い方

ボタンの上下左右（▲/▼/◀/▶）を押して、各機能を選択することができます。
メニューの各項目は、選択されると青色から黄色に変わります。ボタンの中央（●）を押すと、選択されている項目を実行します。

準備する

1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電にはACパワーアダプター／チャージャーを使用します。
本機の電源には"インフォリチウム"バッテリー（Sシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。



❶ バッテリーを押しながら矢印の方向にずらす。

❷ コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプ（オレンジ色）が点灯する。

充電が終わると消える（**実用充電**）。さらに約1時間充電すると若干長く使えます（**満充電**）。

ACパワーアダプター／チャージャーから取りはずす

バッテリーを上にずらす。

充電時間

バッテリー	満充電時間*	実用充電時間**
NP-F10	約145分	約85分

使いきったバッテリーをACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10で充電したときの時間です。

* 充電ランプが消えてから、約1時間充電したとき。

** 充電ランプが消えるまで充電したとき。

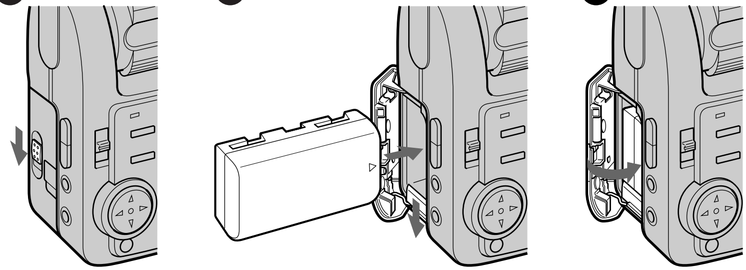
バッテリーの使用時間は、18ページをご覧ください。

InfoLITHIUM S（インフォリチウムバッテリー）とは

InfoLITHIUM S（インフォリチウム）対応の機器との間でバッテリー使用状況に関するデータ通信を行うことのできるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM S（インフォリチウム）（Sシリーズ）対応です。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

2 バッテリーを本体に入れる

❶ ❷ ❸



❶ **バッテリーカバーを開く。**

OPEN（BATT）つまみを矢印の方向に引きながら開ける。

❷ **バッテリーを入れる。**

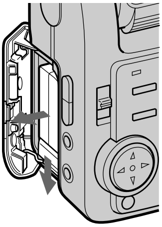
バッテリー取りはずしつまみを下側にずらして、バッテリーの▲マークが奥になるように押しこむ。

❸ **バッテリーカバーを閉じる。**

本体から取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを下側にずらして、バッテリーを取り出す。

バッテリーが落下しないようご注意ください。



バッテリー残量時間表示

あと何分撮影／再生できるかを液晶画面に表示します。

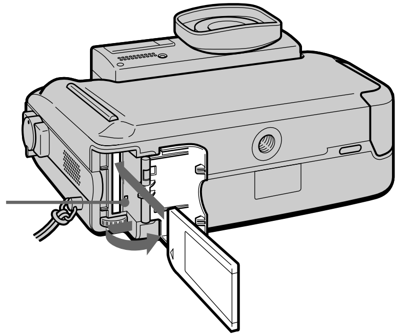
オートパワーオフ機能

撮影時本機の電源を入れたまま操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び使うときはもう1度電源を入れてください。

ACパワーアダプター／チャージャーをつないでいるときは、オートパワーオフ機能は働きません。

3 メモリースティックを入れる

Memory Stick（メモリースティック）はソニー株式会社の商標です。



❶ **メモリースティックカバーを開ける。**

矢印の方向にずらす。

❷ **メモリースティックを入れる。**

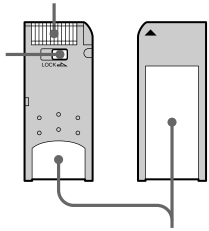
メモリースティックの▲マークが奥になるように押し込む。

❸ **メモリースティックカバーを閉める。**

メモリースティックを取り出す

メモリースティックカバーを開け、メモリースティック取り出しボタンを押して取り出す。

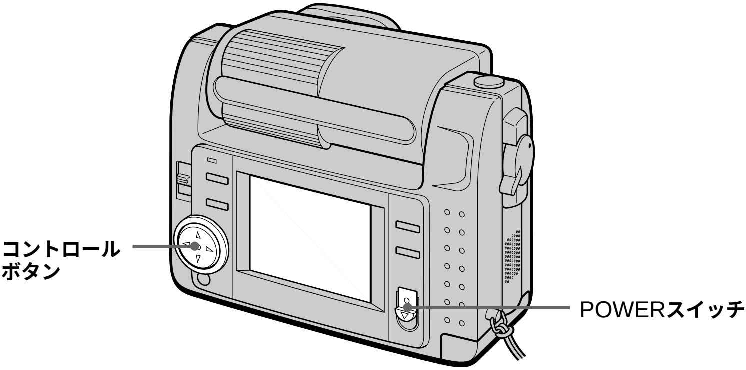
ご注意
アクセスランプが点灯しているときは、絶対にメモリースティックを取り出したり、電源を切ったりしないでください。



ご注意
誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録ができません。

4 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定します。設定しないと、静止画/動画(撮影)状態で電源を入れるたびに手順**5**の日付設定画面が出ます。



---

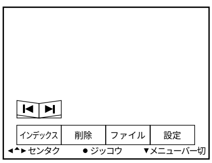
❶ POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。

電源ランプが点灯します。

---

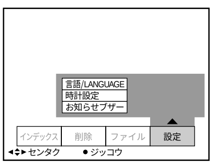
❷ コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが出ます。

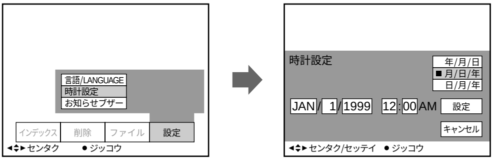


---

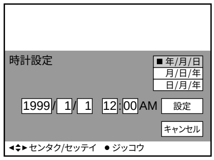
❸ コントロールボタンで「設定」を選び、ボタンを押す。



❹ **コントロールボタンで「時計設定」を選び、ボタンを押す。**

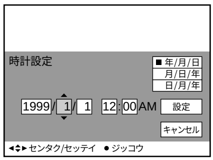


❺ **コントロールボタンでお好みの年月日の表示順を選び、押す。**

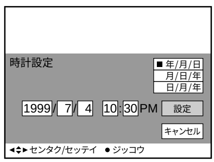


❻ **コントロールボタンで年月日および時間を選び、押す。**

修正する項目の上下に▲/▼が表示される。
コントロールボタンの▲/▼で数字を変更し、ボタンを押して確定する。
数字を変更すると次の項目に移る。
「日/月/年」を選んだときのみ、時間は24時間表示で合わせる。



❼ **コントロールボタンで「設定」を選び、時報と同時にボタンを押す。**



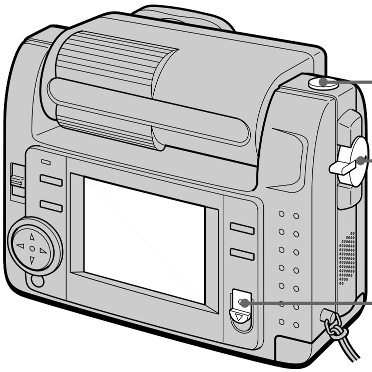
中止するとき

コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

撮影する

1 静止画を撮影する

POWERスイッチで電源を入れ(電源ランプが点灯する)、メモリースティックを入れておきます。



---

❶ **MODEスイッチを「STILL」に合わせる。**

---

❷ **シャッターボタンを軽く押す。**

AE(自動露出)、AWB(自動ホワイトバランス)、AF(オートフォーカス)がロックされると、緑の●AEロック表示が点灯する。

---

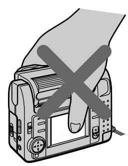
❸ **シャッターボタンをさらに押し込む。**

画像がメモリースティックに書き込まれる。

ご注意

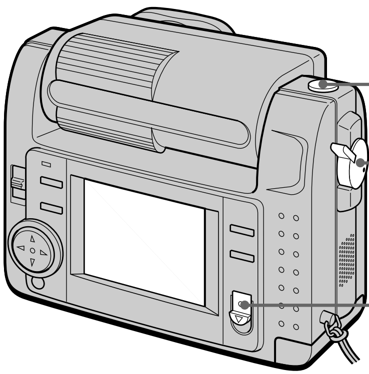
メモリースティックに書き込み中は液晶画面に「記録中」の表示が出ます。表示中は、絶対に本機に強い振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリースティックやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されるだけでなく、メモリースティックが使えなくなることがあります。

液晶画面を持たないでください!



2 動画を撮影する

POWERスイッチで電源を入れ（電源ランプが点灯する）、メモリースティックを入れておきます。



❶ **MODEスイッチを「MOVIE」に合わせる。**

❷ **シャッターボタンを強く押す。**

画像と音声がメモリースティックに書き込まれる。

ポンと1回押すと：ファイルメニューの「記録時間」で設定した時間（15秒、10秒、5秒）録画される。（43ページ）

押し続けると：押し続けている間録画される。

ビデオメールモード：160 × 112 サイズ（160）時、最大60秒

プレゼンテーションモード：320 × 240 サイズ（320）時、最大15秒

ただし、最小の撮影時間は、上記の「記録時間」で設定された時間となります。

動画の画像は静止画の画像にくらべソフトな画像になります。

撮影する（つづき）

最後に撮影した画像を確かめる（レビュー）

コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを押すか、コントロールボタンで「戻る」を選ぶと、通常の撮影モードに戻ります。

撮影中の画面表示

液晶画面の表示は記録されません。

画像サイズ表示（27ページ）／**ズーム表示**（24ページ）

撮影モード表示（28ページ）

AE/**フォーカスロック表示**（12ページ）

バッテリー残量表示（8ページ）

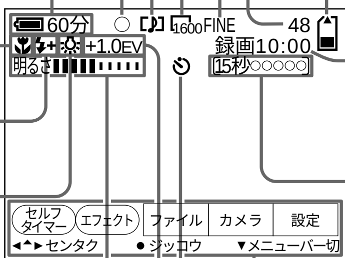
フォーカスモード表示（24ページ）

フラッシュレベル表示（23ページ）

ホワイトバランス表示（31ページ）

ピクチャーエフェクト表示（25ページ）／**液晶画面の明るさ**（操作時のみ表示される）（6ページ）／**音量レベル**（操作時のみ表示される）（16ページ）

EV**補正表示**（30ページ）



画質モード表示（26ページ）

撮影枚数表示
ファイルメニューの「ファイル番号」で「連番」を選ぶと、メモリースティックを入れ換えてもファイル番号は直前に記録した次の番号になります。

メモリー残量表示

自己診断表示（54ページ）／**記録時間表示**

動画／VOICE**録画時間表示**（13ページ）

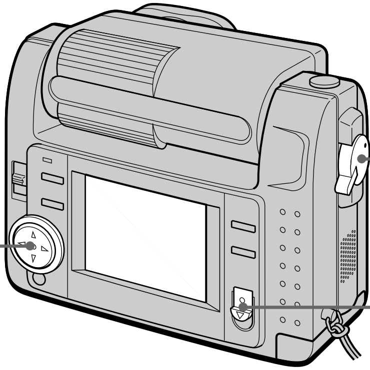
メニューバー／ガイドメニュー
コントロールボタンの▲を押すと出る。▼を押すと消える。

セルフタイマー表示（22ページ）

見る

1 静止画を再生する

POWERスイッチで電源を入れ(電源ランプが点灯する)、撮影済みのメモリースティックを入れておきます。



❶ MODE**スイッチを「**PLAY**」に合わせる。**

最後に撮影された画像が映ります。*

* 画像が1枚も撮影されていないときは、「ファイルがありません」と表示されます。

❷ **コントロールボタンの▲を押し、メニューバーを出す。**

❸ **コントロールボタンで画像を選ぶ。**

画面上のボタンを選び、押す。

I◀:前の画像を見る。

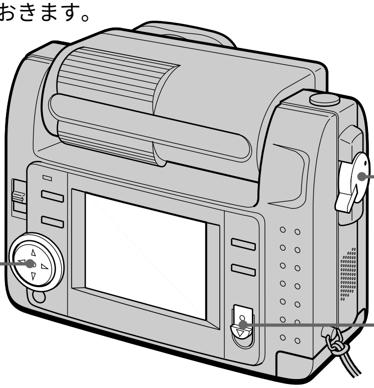
▶I:次の画像を見る。

インデックス:6画面表示にする。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶を使って画像を選ぶことができます。

2 動画を再生する

POWERスイッチで電源を入れ（電源ランプが点灯する）、撮影済みのメモリースティックを入れておきます。



❶ MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。

最後に撮影された画像が映ります。

動画モードで撮影された画像は通常よりもひとまわり小さく表示されます。

❷ コントロールボタンの▲を押し、メニューバーを出す。

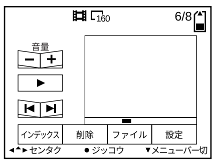
❸ コントロールボタンで動画を選ぶ。

画面上のボタンを選び、押す。

I◀：前の画像を見る。

▶I：次の画像を見る。

インデックス：6画面表示にする。



❹ 画面上の▶（再生）ボタンをコントロールボタンで選び、押す。

動画と音声が再生されます。

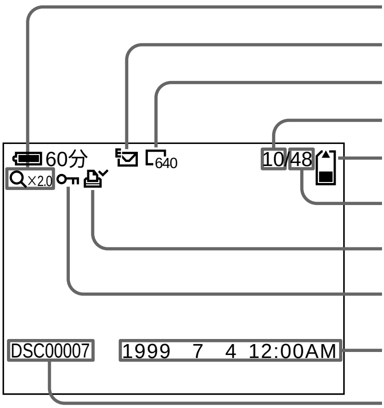
音量を調節する

コントロールボタンで画面上の音量＋/－ボタンを選び、コントロールボタンの◀/▶を押して調節する。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶を使って画像を選び、●を押すと動画と音声が再生されます。

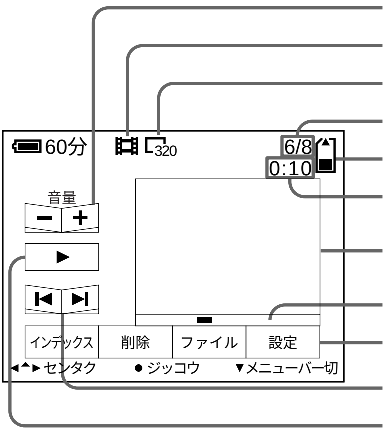
再生中の画面表示

静止画の場合



- ズーム倍率表示（33ページ）
- 撮影モード表示（28ページ）
- 画像サイズ表示（27ページ）
- 画像番号
- メモリー残量
- メモリースティック記録枚数
- プリントマーク表示（46ページ）
- プロテクト表示（36ページ）
- 画像の記録日時（10ページ）／メニューバーとガイドメニュー（41ページ）
- ファイル名

動画／VOICEの場合



- 音量ボタン（16ページ）
- 動画ファイル表示（16ページ）
- 画像サイズ表示（27ページ）
- 画像番号／メモリースティック記録枚数
- メモリー残量
- カウンター
- 再生画（16ページ）
- 再生バー（16ページ）
- メニューバーとガイドメニュー（41ページ）
- 画像送りボタン（16ページ）
- 再生スタート／一時停止ボタン（16ページ）
  ▶：動画停止中
  ❚❚：動画再生中

バッテリーの使用時間／撮影可能枚数

静止画時

連続撮影時

LCD BACK LIGHT	使用時間	撮影/再生枚数
「ON」	約50分(45分)	約1000枚(900枚)
「OFF」	約60分(55分)	約1200枚(1100枚)

連続再生時*

LCD BACK LIGHT	使用時間	撮影/再生枚数
「ON」	約65分(60分)	約1000枚(900枚)
「OFF」	約75分(70分)	約1200枚(1100枚)

温度25°Cで満充電して使用したときの場合。(　)内は実用充電してからの場合。画面サイズが「640×480」で撮影モードが「通常撮影」、画質が「スタンダード」の場合。フラッシュ「OFF」で撮影した場合。

* 約3秒ごとにシングル画面を送りながら再生

動画時

連続撮影時

LCD BACK LIGHT	使用時間
「ON」	約40分(35分)
「OFF」	約50分(45分)

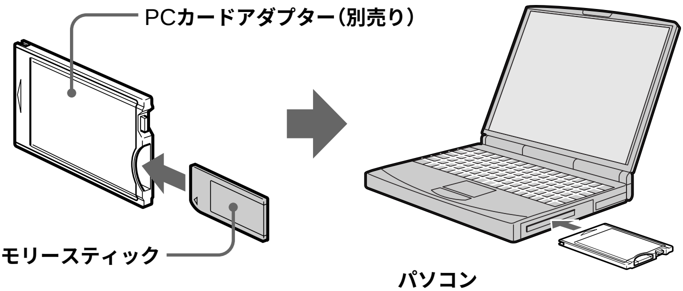
温度25°Cで満充電して使用したときの場合。(　)内は実用充電してからの場合。画像サイズが「160 × 112」の場合。

- 電源の入／切を繰り返したとき、時間／枚数は減ります。
- メモリースティックの容量は限られています。上記はメモリースティックを交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。
- 寒冷地での撮影では使用時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーパックをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本体に入れてください。
  カイロをお使いの場合は、直接バッテリーパックに触れないようにご注意ください。

3 パソコンで見る

本機で撮影した静止画像データはJPEG方式で、動画像・音声データはMPEG方式で圧縮されています。
JPEG、MPEG画像を見ることのできるアプリケーションソフトウェアがインストールされているパソコンで、メモリースティックの画像を見ることができます。
画像の取り込みなど詳しい操作方法については、アプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

PCカードアダプター（別売り）を使用する方法



例：WINDOWS95がインストールされているパソコンでの操作

❶ **パソコンを起動し、メモリースティックを入れたPCカードアダプター（別売り）をパソコンのPCカードドライブに入れる。**

❷ **「マイコンピュータ」を開き、「PCカードドライブ」をダブルクリックする。**

次の順番でフォルダーをダブルクリックする。

撮影モード	静止画	動画	ボイスメモ	Eメール
ダブルクリック	① Dcim	① Mssony	① Mssony	① Mssony
するフォルダー	② 100msdcf	② Moml0001	② Momlv100	② Imcif100

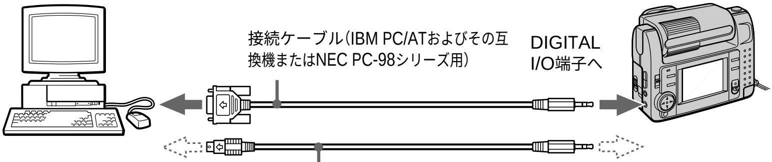
❸ **見たい画像のファイルをダブルクリックする。**

DIGITAL I/O端子にケーブルを接続する方法(IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh)

別売りのパソコン接続キット*DSKIT-PC5を使って、パソコンとの間でデータのやりとりができます。

*** パソコン接続キット**
パソコンと本機を接続するための専用の接続ケーブルと、パソコンで本機の画像を取り込み、処理するためのアプリケーションソフトウェアが付属されています。

パソコン接続キットDSKIT-PC5をお持ちの場合



❶ **パソコンにアプリケーションソフトウェアをインストールする。**

別売りのパソコン接続キットに付属のアプリケーションソフトウェアをインストールします。詳しくは、パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

❷ **パソコン接続キットに付属の変換ケーブル、接続ケーブルを使い、本機のDIGITAL I/O端子とパソコンのRS-232C端子(IBM PC/ATおよびその互換機)またはモデム/プリンターポート(Macintosh)を接続する。**

❸ **本機の電源を入れ、DIGITAL I/O端子に接続ケーブルが接続されていることを確認し、MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。**

液晶画面に「PC MODE」と表示され、パソコンからの通信待機状態になります。

❹ **手順1でインストールしたアプリケーションソフトウェアを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。**

パソコンでの操作方法は、パソコンとパソコン接続キットまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。
- 接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってから接続ケーブルをつなぎ、もう1度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、ACパワーアダプター／チャージャーをお使いください。

推奨OS／アプリケーション例

OS

- Windows 3.1
- Windows 95以降
- Mac OS システム7.5以降

アプリケーション

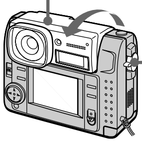
- Sony PictureGear 3.2 Lite
- Sony Pic'n'Roll Ver 2.0 (Macintosh用)
- Microsoft Internet Explorer 4.0
- Netscape Navigator など

ご注意

- MPEGファイルを再生するにはActive Movie Player（Direct Show）をインストールしてください。
- 動画またはVOICEモードで記録されたファイルを再生するときは、パソコンのハードディスクにコピーをしてください。メモリースティックで再生すると、画像や音が途切れることがあります。
- Windows 3.1ではMPEGファイルを扱えません。
- マッキントッシュではMac OSシステム7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したメモリースティックを使用することができます。画像を開くにはマッキントッシュ用アプリケーションが別途必要です。MPEGファイルを再生するにはQuick Time 3.2をインストールする必要があります。
- 動作環境については、お使いになるアプリケーションなどの取扱説明書をご覧ください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、画像の回転、対面撮影情報が反映されないことがあります。

レンズ部を回転させて撮る（対面撮影）

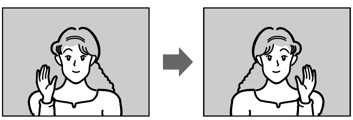
自分を撮ったりするときや、低い位置で撮るときは、レンズ部を回転させ、液晶画面と向き合って撮影できます。



1 MODE**スイッチを**「MOVIE」**または**「STILL」**に合わせる。**

2 **レンズ部の角度を調節する。**
対面撮影のときは、レンズ部を180度回転させます。





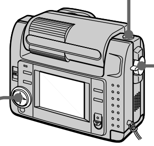
液晶画面に映る画像　**記録される画像**

3 **撮影する。**

ご注意
対面撮影時、液晶画面に映る画像は鏡のようにに映りますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

セルフタイマーで撮る

シャッターを押してから、10秒後に自動撮影できます。



1 MODE**スイッチを**「MOVIE」**または**「STILL」**に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

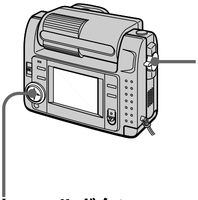
3 **コントロールボタンで「セルフタイマー」を選び、ボタンを押す。**
セルフタイマー表示（⏲）が出ます。

4 **シャッターボタンを軽く押す。**
AEロック表示（●）が出ます。

5 **シャッターボタンを下まで押す。**
録画ランプ、セルフタイマー表示（⏲）が点滅を始め、10秒後に自動的に撮影されます。

フラッシュの明るさを調節する

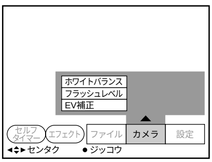
フラッシュの明るさを調節することができます。



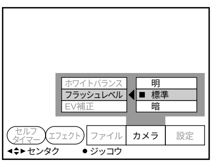
1 **MODEスイッチを「STILL」に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

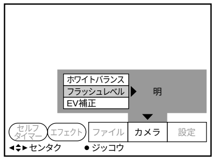
3 **コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。**
カメラメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「フラッシュレベル」を選び、ボタンを押す。**



5 **コントロールボタンでお好みの明るさを選ぶ。**

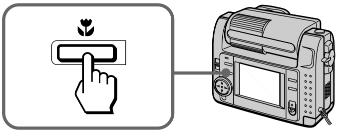


6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

フラッシュ設定のヒント
被写体の色が濃いときや背景が暗いときは、明るめにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュ設定を「暗」（⚡－）にしてください。逆に被写体の色が薄いときや背景が明るいときは、暗めにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュ設定を「明」（⚡＋）にしてください。
フラッシュを適切な明るさに設定するためには、試し撮りをして確認することをおすすめします。

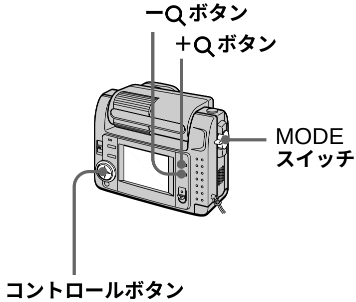
被写体に接近して撮る

🌷（マクロ）ボタンを押します。約10 cmまでの接写ができます。画面にマクロ表示（🌷）が出ます。



🌷（マクロ）ボタンをもう1度押して、マクロ表示（🌷）を消すと通常の撮影モードに戻ります。

画像を拡大して撮影する – 記録ズーム



1 **MODEスイッチを「STILL」に合わせる。**

2 **＋🔍ボタンを押す。**
画像が2.5倍に拡大され、ズーム表示（640🔍）が出ます。

3 **シャッターボタンを強く押す。**
メモリースティックに画像が640 × 480サイズで記録されます。

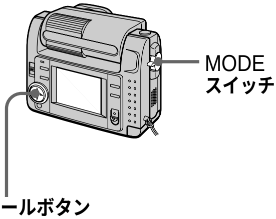
画像を元の大きさに戻す
−🔍ボタンを押す。ズーム表示（640🔍）が消えます。

ご注意
液晶画面に表示される画像は、メモリースティックに記録される画像よりも粗く表示されます。

ズームの倍率は
ズームの倍率は2.5倍になります。また、ズーム表示は「640🔍」のみになります。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」に合わせる。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

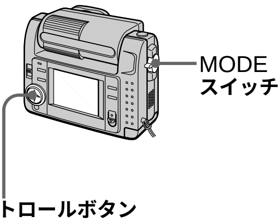
3 コントロールボタンで「エフェクト」を選び、ボタンを押す。
繰り返し選んで、お好みのピクチャーエフェクトを表示させます。
- ❒ ネガアート：写真のネガフィルムのように
- ❒ セピア：古い写真のような色合い
- ❒ モノトーン：白黒に
- ❒ ソラリ：明暗をはっきりさせたイラストのように

4 コントロールボタンの▼を押す。
メニューバーが消えます。

ピクチャーエフェクトを解除する
手順**3**で「エフェクト」を選び、ピクチャーエフェクト表示が消えるまでコントロールボタンを繰り返し押す。

画質モードを選ぶ

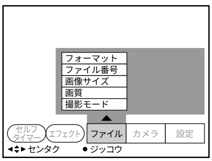
2通りの画質モードを選んで撮影できます。画質モードによって撮影できる枚数が異なります。



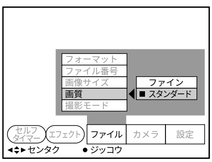
1 **MODEスイッチを「STILL」に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



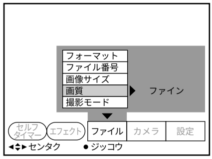
4 **コントロールボタンで「画質」を選び、ボタンを押す。**



❐ ファイン：
画質を優先するときに使う。

❐ スタンダード：
標準画質モード。

5 **画質モードを選び、コントロールボタンを押す。**



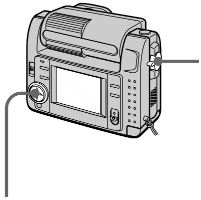
6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

画質モードの違いは？
画像は、JPEGという方式で圧縮処理をしてから記憶されますが、記録されるときに割り当てられるメモリー容量は画質モードにより異なります。

ご注意
画像によっては、画質モードを変えても、画質に差がない場合があります。

画像の大きさを選ぶ

撮影状態に合わせて、画像サイズを変えて撮影することもできます。



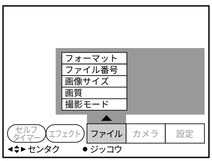
MODE
スイッチ

コントロールボタン

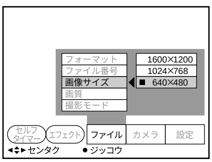
1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



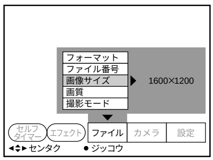
4 **コントロールボタンで「画像サイズ」を選び、ボタンを押す。**



「STILL**」を選んでいるとき**
- ❒ 1600 × 1200：
  JPEG画像を1600 × 1200サイズで記録する。
- ❒ 1024 × 768：
  JPEG画像を1024 × 768サイズで記録する。
- ❒ 640 × 480：
  JPEG画像を640 × 480サイズで記録する。

「MOVIE**」を選んでいるとき**
- ❒ 320 × 240：
  MPEG画像を320 × 240サイズで記録する。
- ❒ 160 × 112：
  MPEG画像を160 × 112サイズで記録する。

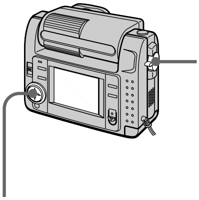
5 **コントロールボタンでお好みのサイズを選び、ボタンを押す。**



6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

撮影モードを選ぶ

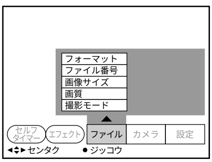
撮影状態に合わせて、静止画に音声を加えて撮影したり、Eメールに適した画像で撮影したりすることができます。



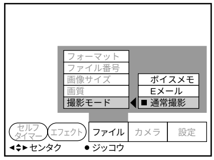
1 MODE**スイッチを「**STILL**」に合わせる。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。
ファイルメニューが出ます。



4 コントロールボタンで「撮影モード」を選び、ボタンを押す。

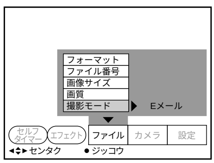


❒ ボイスメモ：
JPEGファイルに加えて、音声ファイル（静止画つき）を記録する。

❒ Eメール：
「1600 × 1200」または「1024 × 768」、「640 × 480」に加えて、「320 × 240」サイズのJPEGファイルを記録する。「320 × 240」サイズの画像はデータ量が少なく、Eメール転送などに適している。

❒ 通常撮影：
「画像サイズ」で選択したサイズでJPEGファイルを記録する。

5 コントロールボタンでお好みのサイズを選び、ボタンを押す。



6 コントロールボタンの▼を繰り返し押す。
メニューバーが消えます。

MODEスイッチが「STILL」のとき

記録モード	サイズ	記録されるファイル	ファイル名（例）Dsc	メモリースティック（4MB）1枚に撮影できる枚数の目安 スタンダード	ファイン
通常撮影	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200）	00001.jpg	10〜15	5〜8
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768）	00001.jpg	27〜49	14〜27
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480）	00001.jpg	47〜63	27〜38
Eメール	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	10〜14	5〜8
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	24〜48	13〜24
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	38〜48	24〜32
ボイスメモ	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	9〜12	5〜7
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	19〜27	11〜19
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	27〜32	19〜24

MODEスイッチが「MOVIE」のとき

モード	サイズ	記録されるファイル	ファイル名（例）Mov	メモリースティック（4MB）1枚に撮影できる時間*
プレゼンテーション	320 × 240	MPEG画像（320 × 240）	00001.mpg	40秒
ビデオメール	160 × 112	MPEG画像（160 × 112）	00001.mpg	160秒

* 連続して撮影した場合

ディレクトリー名について

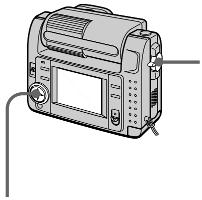
それぞれの記録モードによるディレクトリー名は下記のようになります。

通常撮影：Dcim¥100msdcf
Eメール：¥Mssony¥Imcif100
ボイスメモ：¥Mssony¥Momlv100
動画：¥Mssony¥Moml0001

明るさを補正する

撮影状態に合わせて、被写体の明るさを補正して撮影することもできます。

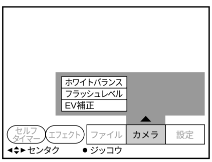
いつ使う? 逆光や、スポットライトなどで被写体の明るさが背景と極端に違うとき。



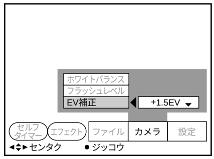
1 **MODEスイッチを「MOVIE」または「STILL」に合わる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

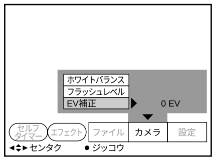
3 **コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。**
カメラメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「EV 補正」を選び、ボタンを押す。**



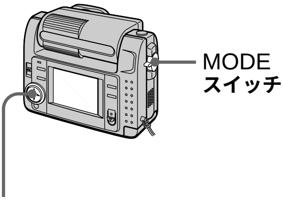
5 **コントロールボタンでお好みの明るさを選び、ボタンを押す。**
背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
0.5EVごとに＋1.5EVから－1.5EVまで変えられます。



6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

自然な色合いに調節する – ホワイトバランス

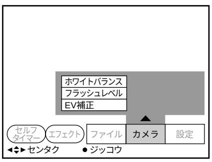
これから撮ろうとする光の状態で、自然な色合いの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。



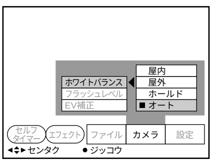
1 MODE**スイッチ「**MOVIE**」または「**STILL**」に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。**
カメラメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「ホワイトバランス」を選び、ボタンを押す。**



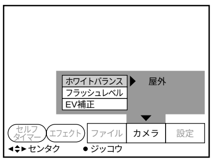
❒ 屋内（☼）：
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

❒ 屋外（☀）：
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

❒ ホールド（HOLD）：
単一色の被写体や背景を撮るとき

❒ オート：
ホワイトバランスを自動調節するとき

5 **お好みのホワイトバランスを選んでコントロールボタンを押す。**



6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

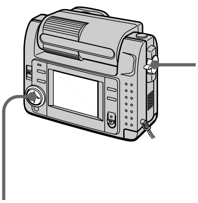
ホワイトバランスを自動調節に戻す

手順**5**で「オート」を選び、コントロールボタンを押す。

6画面表示をする – インデックス表示

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。6枚の中から画像を選びシングル画面に表示することもできます。

いつ使う? 画像を検索するときなど。



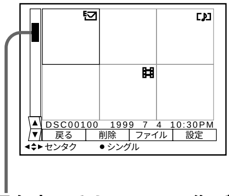
1 MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。

2 コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「インデックス」を選び、ボタンを押す。

6枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。



- 動画ファイル
- 音声が記録されているファイル
- Eメールモードファイル
- プリントマーク

6枚単位で違う画像を表示する
コントロールボタンで画面左下の「▲/▼」を選び、コントロールボタンの▲、▼で画像を送ります。

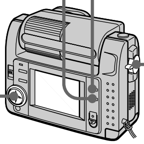
▲	前の6枚を表示
▼	後の6枚を表示

シングル画面表示に戻すときは
- コントロールボタンで見たい画像を選び、ボタンを押す。
- コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。

ご注意
インデックスモードでは、メニューバーを消すことはできません。

画面の一部を拡大する – 再生ズーム／トリミング

撮影した画像を拡大したりトリミングしたりできます。



1 **MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。**

2 **拡大したい画像を表示する。**

3 **+Q/−Qボタンを繰り返し押して、画像をお好みの大きさにする。**
画像ズーム倍率表示（Q × 2.0）が出ます。

4 **コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選ぶ。**
▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめる

ズーム倍率表示（Q × 2.0）が消えるまで、−Qボタンを繰り返し押すか、コントロールボタンを押します。画像ズーム倍率表示（Q × 2.0）が消えます。

拡大した画像を記録する（トリミング）

再生ズームを行った画像を記録することができます。画像がお好みの大きさ、位置になったときにシャッターボタンを押すと、画像が640 × 480サイズで記録されます。

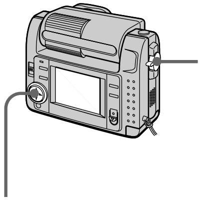
ご注意

- 動画では、再生ズーム、トリミングができません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は640 × 480サイズで記録されます。

画像を回転させて再生する

撮影した画像を回転させることができます。
回転した画像の方向は、回転情報として画像ファイルに記録されます。

いつ使う? 縦で撮った画像を再生時に横にして見たいときなどに。

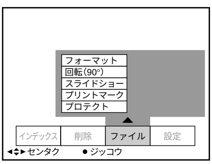


1 **MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。**

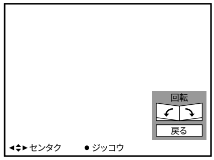
2 **回転させたい画像を表示する。**

3 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

4 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



5 **コントロールボタンで「回転(90°)」を選び、ボタンを押す。**



- ❐ ↻:画像を右回りに90度回転させるとき。
- ❐ ↺:画像を左回りに90度回転させるとき。

6 **↻または↺で画像を回転させて、コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。**

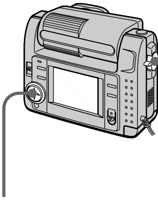
画像表示を元に戻す
手順**6**で繰り返し↻または↺を選んで、画像を元に戻してから、「戻る」を選ぶ。

ご注意
- 他機で撮影した画像は回転できないことがあります。
- メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていたり、画像がプロテクトされているときは回転できません。
- パソコンで画像を見るとき、アプリケーションソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

画像を順番に再生する – スライドショー

すべての画像を次々に自動再生します。

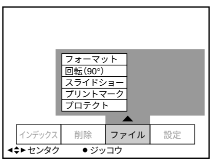
いつ使う? プレゼンテーションをするときなど。



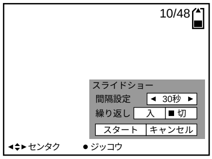
1 **MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「スライドショー」を選び、ボタンを押す。**



5 **「間隔設定」を設定する。**
コントロールボタンの◀、▶でスライドショーの間隔を設定する。1分、30秒、10秒、5秒、3秒から選ぶことができます。

6 **「繰り返し」を設定する。**
❒ 入:「戻る」を選ぶまで、繰り返し再生される。
❒ 切:すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

7 **コントロールボタンで「スタート」を選び、ボタンを押す。**
スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するとき
コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

ご注意
間隔設定時間は、画像サイズ、画質モードにより、ずれることがあります。

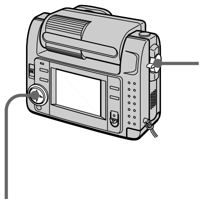
次のページにつづく➔

スライドショー設定中の操作

- 一時停止
  画面上の「❚❚」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
- 一時停止の解除
  画面上の「▶」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
- 画像の送り／戻し
  画面上の「❙◀/▶❙」をコントロールボタンで選ぶか、コントロールボタンの◀、▶を押す。「間隔設定」の時間に関係なく画像が変わります。
- 終了
  コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。

大事な画像を残す – プロテクト

大事な画像を残すために、撮影したすべての画像または画像を選んでプロテクト（誤消去防止）指定ができます。

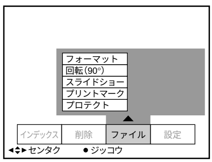


シングル画面表示のとき

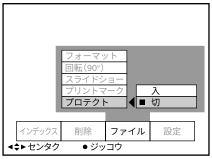
1 MODE**スイッチを**「PLAY」**に合わせて、プロテクトをかける画像を表示する。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「プロテクト」を選び、ボタンを押す。**



5 **コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。**
表示されている画像にプロテクトがかかります。

6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。
プロテクトされた画像に「O━π」マークがつきます。

プロテクト指定を解除する
手順**5**で「切」を選び、コントロールボタンを押す。

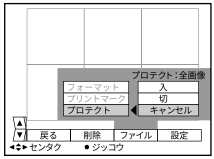
インデックス画面表示のとき

1 **インデックス画面表示にする。**

2 **コントロールボタンで「ファイル」の「プロテクト」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。

3 **すべての画像にプロテクトをかける(または解除する)ときは「全画像」を、プロテクトをかける(または解除する)画像を選ぶときは「選択画像」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。**

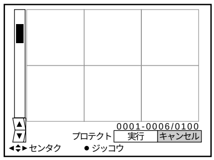
「全画像」を選んだとき



すべての画像にプロテクトをかける
コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。

すべての画像のプロテクト指定を解除する
コントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき



プロテクトをかける

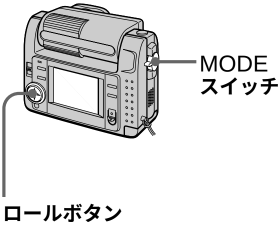
① プロテクトをかける画像をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
O━π(プロテクト)表示が出ます。

② プロテクトをかけたい画像をすべて選んだら、コントロールボタンで「実行」選び、ボタンを押す。
O━π(プロテクト)表示が緑色から白色に変わります。

プロテクト指定を解除する
手順①でプロテクト指定を解除したい画像を選び、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

画像を消す – 削除

不要になった画像を削除できます。撮影したすべての画像を一度に削除することも、画像を選んで削除することもできます。

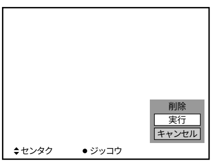


シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にし、コントロールボタンを使って削除したい画像を表示する。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「削除」を選び、ボタンを押す。



4 コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
画像が削除されます。

ご注意
一度削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

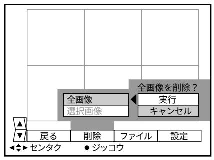
インデックス画面表示のとき

1 インデックス画面表示にする。

2 コントロールボタンで「削除」を選び、ボタンを押す。

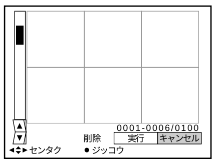
3 すべての画像を削除するときは「全画像」を、削除する画像を選ぶときは「選択画像」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。

「全画像」を選んだとき



コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき



① 削除する画像をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
🗑（削除）表示（緑色）が出ます。

② 削除したい画像を選んだら、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
選択した画像が削除されます。

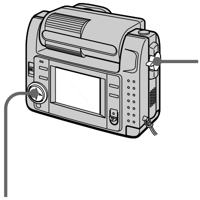
削除をやめるとき

コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

ご注意

- 「全画像」削除を実行してもプロテクトされている画像は削除できません。
- 「選択画像」削除を選んだとき、プロテクトされている画像は選択できません。

メモリースティックをフォーマットする



MODE スイッチ

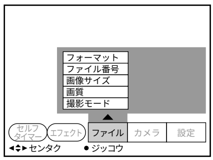
コントロールボタン

1 **コントロールボタンの▲を押す。**

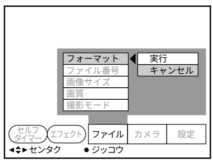
メニューバーが出ます。

2 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**

ファイルメニューが出ます。



3 **コントロールボタンで「フォーマット」を選び、ボタンを押す。**



4 コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
画像フォーマットが実行されます。

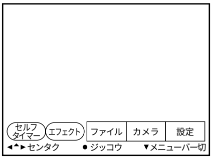
フォーマットを中止するとき
手順**4**で「キャンセル」を選び、コントロールボタンを押す。

ご注意
フォーマットを実行すると、これまで記録されたすべての画像が削除されます。画像がプロテクトされていても削除されます。必要な画像はあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

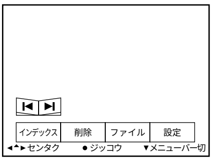
メニューで設定を変える

1 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

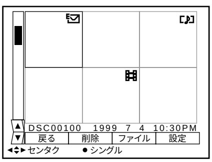
「MOVIE」または「STILL」のとき



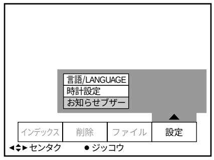
「PLAY」（シングル画面表示）のとき



「PLAY」（インデックス画面表示）のとき



2 コントロールボタンで希望の項目を選び、ボタンを押す。
各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンを押すと設定項目が表示されます。



3 コントロールボタンで希望の設定を選び、ボタンを押す。
設定が終わると手順**2**のメニュー画面に戻ります。

中止するとき
コントロールボタンの▼を押す。
元のメニュー画面に戻る。メニューバーを消したいときは、コントロールボタンの▼を繰り返し押す。

各設定項目の説明

お買い上げ時は、下表の●側に設定されています。

MODEスイッチの位置によって操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、使える項目のみが表示されています。

「MOVIE」または「STILL」のとき

メニュー	項目	設定	意味
セルフタイマー		–	セルフタイマー撮影をする。(22ページ)
エフェクト		ネガアート	写真のネガフィルムのように。
		セピア	古い写真のような色合いに。
		モノトーン	白黒に。
		ソラリ	明暗を際だたせたイラストのように。
ファイル	フォーマット	実行	メモリースティックをフォーマット(初期化)する。
		キャンセル	
	ファイル番号	連番	メモリースティックが変わっても、番号を連続してつける。
		●標準	メモリースティックごとにファイル番号をリセットする。
	画像サイズ(「STILL」のとき)	●1600 × 1200	JPEG画像を1600 × 1200サイズで記録する。
		1024 × 768	JPEG画像を1024 × 768サイズで記録する。
		640 × 480	JPEG画像を640 × 480サイズで記録する。
	(「MOVIE」のとき)	●320 × 240	MPEG画像を320 × 240サイズで記録する。
		160 × 112	MPEG画像を160 × 112サイズで記録する。
	画質(「STILL」のとき)	ファイン	高画質。
		●スタンダード	標準画質。
	撮影モード(「STILL」のとき)	ボイスメモ	JPEGファイルに加えて、音声ファイル(静止画つき)を記録する。 シャッターをポンと1回押すと:5秒間音声が記録される。 シャッターを押し続けると:押し続けている間最長40秒間音声が記録される。
		Eメール	(640 × 480)または(1600 × 1200/1024 × 768)に加えて(320 × 240)サイズのJPEGファイルを記録する。(320 × 240)サイズの画像はデータ量が少なく、Eメール転送などに適している。
		●通常撮影	通常の撮影をする。

メニュー	項目	設定	意味
ファイル	記録時間（「MOVIE」のとき）	15秒 10秒 ●5秒	動画を15秒間記録する。 動画を10秒間記録する。 動画を5秒間記録する。
カメラ	ホワイトバランス	屋内 屋外 ホールド ●オート	• パーティー会場など照明条件が変化する場所 • スタジオなどビデオライトの下 • 昼光色蛍光灯の下で撮るとき • ナトリウムランプや水銀灯の下 • 夜景やネオン、花火などを撮るとき • 日の出、日没などを撮るとき 単一色の被写体や背景を撮るとき。 ホワイトバランスの調節を自動で行うとき。
	フラッシュレベル（「STILL」のときのみ）	明 ●標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。
	EV補正	+1.5EV～–1.5EV	画像の明るさを調節する。
設定	デモモード	入/スタンバイ ●切	デモンストレーションを始める。 デモンストレーションを表示しない。
	言語/LANGUAGE	ENGLISH 日本語/JPN	すべての表示を英語で表示する。 すべての表示を日本語で表示する。
	時計設定	–	時計を合わせ直すとき。
	お知らせブザー	シャッター ●入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどにブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

メニュー	項目	設定	意味
インデックス		–	インデックス画面を表示する。（32ページ）
削除		実行 キャンセル	画像を消去する。 –

デモモードについて

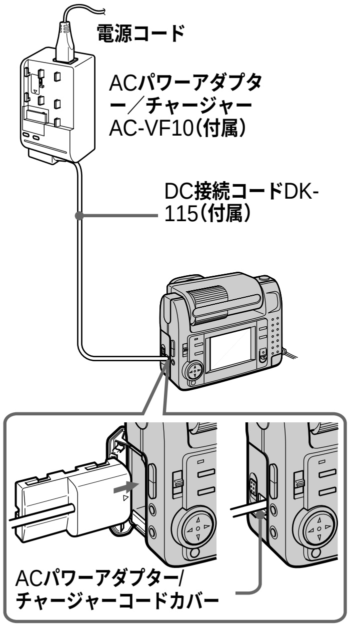
コンセントにつないでSTILL、MOVIEモードで使用しているときのみ表示されます。電源を切ると中止します。

メニュー	項目	設定	意味
ファイル	フォーマット	実行	メモリースティックをフォーマット(初期化)する。
		キャンセル	–
	回転(90°)	–	画像を右回り、左回りに回転する。
	スライドショー	間隔設定	スライドショーの間隔を設定する。 ● 3秒/5秒/10秒/30秒/1分
		繰り返し	スライドショーの繰り返しを設定する。入/●切
		スタート	スライドショーを実行する。
		キャンセル	–
	プリントマーク	入	プリントしたい画像にプリントマークをつける。
		●切	プリントマークを消す。
	プロテクト	入	プロテクト指定する。
		●切	プロテクト指定しない。

「PLAY」(インデックス画面表示)のとき

メニュー	項目	設定	意味
削除		全画像	全ての画像を消去する。
		選択画像	選択した画像を消去する。
ファイル	フォーマット	実行	メモリースティックをフォーマット(初期化)する。
		キャンセル	–
	プリントマーク	全画像	切:プリントマークが付いているすべての画像のマークを消す。 キャンセル:操作をやめる。
		選択画像	• 画像にプリントマークを付ける。 • プリントマークが付いている画像のマークを消す。
		キャンセル	–
	プロテクト	全画像	入:すべての画像にプロテクトをかける。 切:すべての画像のプロテクト指定を解除する。 キャンセル:操作をやめる。
		選択画像	• 画像にプロテクトをかける。 • 画像のプロテクト指定を解除する。
		キャンセル	–

コンセントにつないで使う



1 バッテリーカバーを開ける。

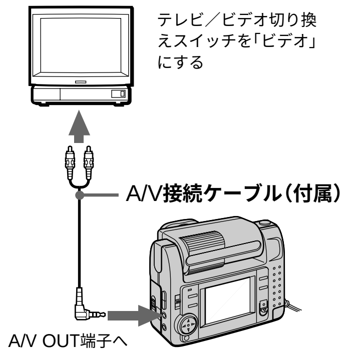
2 DC接続コード（DK-115）の一方を本体に入れ、カバーを閉める。
上の図のようにコードカバーを開き、コードをはさまないようにしてカバーを閉める。

3 DC接続コードのもう一方をACパワーアダプター／チャージャーにつなぐ。

4 電源コードのもう一方をACパワーアダプター／チャージャーに、もう一方をコンセントにつなぐ。

テレビで見る

ビデオ端子のあるテレビに接続できます。スライドショー再生などを見たり、マクロ撮影でのピント合わせをするときに便利です。



1 本機のA/V OUT端子とテレビのオーディオ／ビデオ入力端子を接続する。

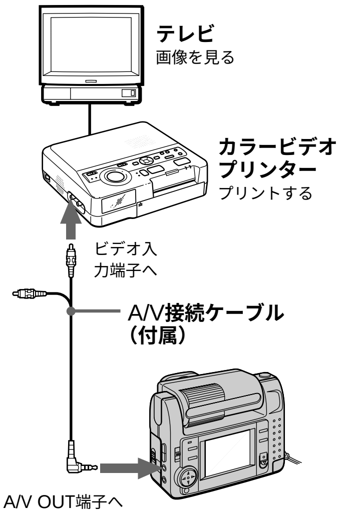
2 本機で画像を再生する。
テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意

- A/V接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってからA/V接続ケーブルをつなぎ、もう一度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、ACパワーアダプター／チャージャーをお使いください。
- ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。
- MODEスイッチの位置が「MOVIE」または「STILL」の場合、レンズ部を回転させ、レンズを液晶画面の方向に向けると、テレビには上下左右に反転した画像が映ります。
- A/V接続ケーブルを接続しているときは、お知らせブザーは鳴りません。また、液晶画面に画像は出ません。

プリントする

本機で撮影した画像をプリンターでプリントできます。
ビデオ端子のあるプリンターに画像を送りプリントできます。
お使いになるプリンターの取扱説明書もご覧ください。



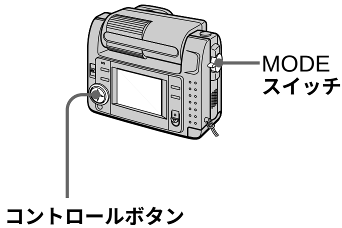
1 **本機のA/V OUT端子とプリンターのビデオ入力端子を接続する。**

2 **本機で画像を再生する。**
テレビ画面に再生画像が映ります。

3 **プリンターで画像を取り込み、プリントする。**
画像の取り込みとプリントの方法については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントマークを付ける

撮影した画像の中からプリントしたい画像を直接指定することができます。後でプリントするときに便利です。
本機は印刷したい画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

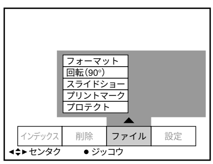


シングル画面表示のとき

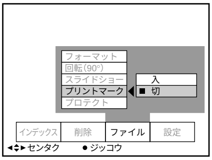
1 **MODEスイッチを「PLAY」に合わせて、プリントマークをつける画像を表示する。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。



4 **コントロールボタンで「プリントマーク」を選び、ボタンを押す。**



5 **コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。**
表示されている画像にプリントマークが付きます。

6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。
プリントマークを付けた画像に「」が付きます。

プリントマークを消す
手順**5**で「切」を選び、コントロールボタンを押す。

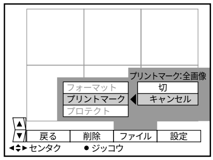
インデックス画面表示のとき

1 **インデックス画面表示にする。**

2 **コントロールボタンで「ファイル」の「プリントマーク」を選び、ボタンを押す。**

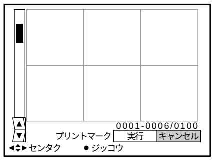
3 **すべての画像のプリントマークを消すときは「全画像」を、プリントマークを付ける(または消す)画像を選ぶときは「選択画像」を選び、ボタンを押す。**

「全画像」を選んだとき



すべての画像のプリントマークを消す
コントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき



プリントマークを付ける

① プリントマークを付けたい画像を選び、ボタンを押す。
プリントマークが付きます。

② プリントマークを付けたい画像をすべて選んだら、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
プリントマークが緑色から白色に変わります。

プリントマークを消す
手順①でプリントマークを消したい画像を選び、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

使用上のご注意

メモリースティックについて

- 画像データの破壊を防ぐために、撮影や再生の操作中にバッテリーやACパワーアダプター／チャージャーを取りはずすと、画像データが破壊されることがあります。必ず本機の電源を切ってからバッテリーやACパワーアダプター／チャージャーを抜いてください。
- メモリースティックの端子部は手や金属で触れないでください。
- メモリースティックのラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外を貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用のケースに入れてください。
- メモリースティックの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録・消去・フォーマットができなくなります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- データの読み込み中・書き込み中にメモリースティックを抜かないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消滅（破壊）されることがあります。
  - 読み込み中・書き込み中にメモリースティックを抜いたり、接続した機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 他機で作成した画像の本機での再生、本機で作成した画像の他機での再生については、保証いたしません。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしない
  液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。結露が起きたときは、バッテリーを取り出しバッテリーカバーを開けて、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするためには、本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

使用について

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない
  正しくご使用になれないことがあります。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わない
  TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。
- ACパワーアダプター／チャージャー（付属）を海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しない
  発熱や故障の原因となります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをお勧めします。

レンズのお手入れ

レンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、別売りのレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

お使いにならないときは

持ち運ぶときやお使いにならないときは、電源を切っておいてください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。

ただし、充電式ボタン電池が充電されていなくても、本機を使うことはできます。（日時は記録されません。）

充電方法

本機をACパワーアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切って24時間以上放置する。

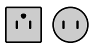
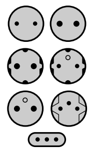
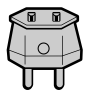
海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属 のACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10は、AC100〜240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像をテレビで見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像入力端子付きであること、および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプター/チャージャーのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリースティックなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

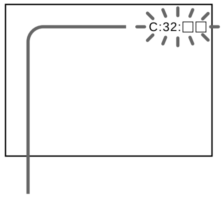
修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。**液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。54ページをご覧ください。**

症状	原因	処置
操作を受けつけない	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを充電する。（7ページ）
	ACアダプター／チャージャーがしっかり差し込まれていない。	バッテリー取り付け部とコンセントにしっかり差し込む。（45ページ）
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後にふたたび電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない	MODEスイッチが「MOVIE」または「STILL」になっていない。	MODEスイッチを「MOVIE」または「STILL」にする。（12、13ページ）
	すでに限度いっぱいに撮影している。	不要な画像を削除してから撮影する。（38ページ）
	メモリースティックが入っていない。	メモリースティックを入れる。（9ページ）
	メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	メモリースティックの誤消去スイッチを解除する。
	バッテリーが残り少ない。	バッテリーを充電する。（7ページ）
ピントがあっていない	10 cm～50 cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	（マクロ）ボタンを押して、マクロ撮影モードにする。（24ページ）
ノイズが入る	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い	逆光になっている。光量が足りない。	明るさを補正する。（30ページ） 液晶画面の明るさを調節する。（6ページ）

症状	原因	処置
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象という現象です。	故障ではありません。
黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えない。	液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。	故障ではありません。これらの点は記録されません。
電池の消耗が速い。	バッテリーの充電が不充分。	充分に充電する。（7ページ）
	バッテリー自体が寿命。	新しいバッテリーに交換する。（8ページ）
再生ができない。	MODEスイッチが「PLAY」になっていない。	MODEスイッチを「PLAY」にする。（15、16ページ）
	メモリースティックが入っていない。または、メモリースティックに画像ファイルが入っていない。	画像ファイルの入っているメモリースティックを入れる。（9ページ）
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。（7ページ）
画像が削除できない。	プロテクト指定がされている。	プロテクト指定を解除する。（36ページ）
	メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	メモリースティックの誤消去防止スイッチを解除する。

自己診断表示
－アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容がわかるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

- 「C:□□:□□」：
  お客様自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E:□□:□□」：
  カスタマーサポートに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアーの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	• フォーマットしていないメモリースティックを入れた。	フォーマットする。（39ページ）
	• 本機で使えないメモリースティックを入れた。	メモリースティックを交換する。
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	カスタマーサポートにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁をすべてお知らせください。例：E:61:10

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示が出ます。下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味と対策
メモリースティックがありません	メモリースティックが入っていない。 ➔ メモリースティックを入れる。（9ページ）
システムエラー	ハードウェアに異常が発生している。 ➔ 電源を入れ直す。
メモリースティックエラー	• 本機では使えないメモリースティックが入っている。 • メモリースティックが壊れている。 ➔ 本機で使えるメモリースティックを入れる。（9ページ）
フォーマットエラー	メモリースティックが正しくフォーマットされていない。 ➔ 本機でもう1度フォーマットする。（39ページ）
メモリースティックがロックされています	メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ➔ メモリースティックの誤消去防止スイッチを解除する。
メモリースティックの残量がありません	メモリースティックがいっぱいで記録できない。 ➔ 不要な画像を削除するか、新しいメモリースティックを入れてから撮影する。
ファイルエラー	ファイルが壊れている。 ➔ 壊れているファイルを消去する。（38ページ）
ファイルがプロテクトされています	画像がプロテクトされている。 ➔ 画像のプロテクトを解除する。（36ページ）
ファイルがありません	画像が記録されていない。 ➔ 撮影済みのメモリースティックを入れる。 本機では使えないメモリースティックが入っている。 ➔ 本機で使えるメモリースティックを入れる。（9ページ）
“インフォリチウム”バッテリーを使ってください	“インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。 ➔ “インフォリチウム”対応のバッテリーを使う。（7ページ）
	バッテリーの残量がない。 ➔ バッテリーを充電する。（7ページ）

主な仕様

システム

形式

メモリー式デジタルスチルカメラ

映像信号出力

NTSCカラー、EIA標準方式

撮影素子

1/2インチCCD
(1636 × 1236)正方格子、原色フィルター、インターレース読み出し方式

レンズ

5群5枚
焦点距離 f = 6.85 mm
(f = 37 mm、35 mmカメラ換算)
(0.5 m ～ ∞)
マクロ(0.1 m ～ ∞)
F 2.8

測光方式

TTL測光方式

露出制御

自動

ホワイトバランス

自動、屋内、屋外、ホールド

データ圧縮方式

動画:MPEG-1
静止画:JPEG
音声(静止画付き):MPEG AUDIO (モノラル)

データ形式

静止画:1600 × 1200、1024 × 768、640 × 480
動画:320 × 240、160 × 112
Eメール:320 × 240

記憶媒体

メモリースティック

フラッシュ

推奨撮影距離: 0.3 m～2.5 m
直列制御自動調光方式

シャッタースピード

自動可変(1/30～1/1000)

液晶画面

画面サイズ

2型(横559×縦220)

使用液晶パネル

TFT(薄膜トランジスタアクティブマトリクス)駆動

総ドット数

122,980ドット

入・出力端子

A/V OUT**端子(モノラル)**

ミニジャック
映像:1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声: 327 mV(47 kΩ負荷時)、出力インピーダンス 2.2 kΩ

DIGITAL I/O**端子**

ミニジャック
RS-232C準拠
9.6 Kbps ～ 115.2 Kbps

電源・その他

消費電力

バッテリーチャージャー使用時:
撮影時3.6 W、再生時3.1 W
バッテリーパックNP-F10使用時:
撮影時3.3 W、再生時2.7 W

保存温度

－20 ℃～＋60 ℃

動作温度

0 ℃～＋40 ℃

最大外形寸法

約103×79.1×48 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

質量

本体 約250 g（バッテリー含まず）
本体 約300 g（バッテリー、メモリースティック、レンズキャップなど含む）

付属品

A/V接続ケーブル（1）
バッテリーパックNP-F10（1）
ACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10（1）
接続コードDK-115（1）
電源コード（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップひも（1）
ハンドストラップ（1）
メモリースティック（4 MB）（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
安全のために（1）

ACパワーアダプター/チャージャーAC-VF10

電源

AC100–240V、50/60Hz

消費電力

13 W

定格出力

DC OUT:DC 4.2V、1.8A
バッテリー充電:DC 4.2V、1.5A

動作温度

0 ℃～＋40 ℃

保存温度

－20 ℃～＋60 ℃

最大外形寸法

約49×39×85 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

質量

約120 g

バッテリーパックNP-F10

公称電圧

DC 3.6 V

容量

3.6 Wh

種類

リチウムイオン蓄電池

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

アルファベット順

デジタルスチルカメラ

DSC-F55K

ご案内

デジタルスチルカメラDSC-F55Kをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この度ソニーでは、お買い上げいただいたデジタルスチルカメラのご相談窓口「デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンター」を開設いたしましたので、ご案内させていただきます。

デジタルスチルカメラ
テクニカルインフォメーションセンター

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

万一不具合が生じた時には
製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客さまのお宅まで指定宅配便で取りにお伺いしますので、先ずお電話をください。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

Digital Still Camera Information**のご案内**
ソニーデジタルスチルカメラをご購入いただいたお客様向けに様々な情報をお届けしています。
メモリースティックやPC接続に関する情報もこちらでご覧になれます。
● http://www.sony.co.jp/DSC/

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。